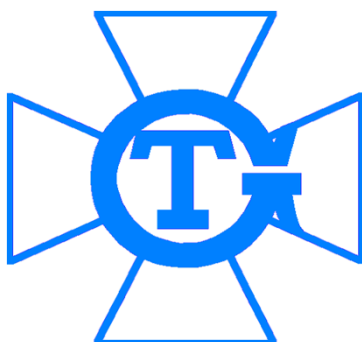


100th
Anniversary

東北学院同窓会 近畿支部 (TG青葉親睦会)

100年のあゆみ

(追加版)



東北学院同窓会 近畿支部
100周年記念事業実行委員会



(スマホからHPにアクセスしてください)



目 次

1. 近畿支部 100周年に寄せて（追加寄稿）

兵庫県 尼崎市	関根 ゆかり	 1
兵庫県 神戸市	眞方 忠道	 1
大阪府 吹田市	大槻 六郎	 1
大阪府 交野市	佐藤 吉雄	 2
大阪府 箕面市	文屋 光史	 3
兵庫県 西宮市	結城 一男	 3
埼玉県 和光市	齋藤 彰	 4
大阪府 大阪市	西海 馨	 5
大阪府 吹田市	安田 晶子	 5

2. 特別寄稿「近畿支部100年のあゆみに寄せて」 宇野 敦 6

3. 総会写真集（1973～2014年） 9

4. 東北学院時報（抜粋）13

近畿支部は2019年に設立100周年を迎え、記念行事の一環として、関係の皆さまにご協力をいただき、100周年記念誌「**近畿支部100年のあゆみ**」を2020年10月に発刊しました。

その後、会員の皆さまに追加でご寄稿をお願いしましたところ、たくさんの方々から原稿をいただきましたので、今回100周年記念誌「**追加版**」として発刊することとなりました。ご寄稿や当時の写真をいただきました皆さまに感謝を申し上げます。

今後とも近畿支部の活動にご理解とご支援をお願いいたします。

100周年記念事業実行委員会
委員長 国吉 毅（近畿支部長）

今回、会員の皆さまからたくさんのご寄稿をいただき、ありがとうございます。特に大阪府交野市の佐藤吉雄様からは漢詩を、元 事務局長・副支部長の宇野 敦様（大阪府高石市）からは近畿支部の中期といえる活動内容について、ご寄稿をいただきましたので、特別寄稿として掲載させていただきました。

併せて、会員の皆さまから活動中期の総会の写真をいただきましたので、総会写真集として掲載させていただきました。編集の関係で修正にもご協力をいただき、重ねて御礼申し上げます。

なお、写真に一部不鮮明な部分がありますことをご了承ください。

100周年記念事業実行委員会
記念誌編集担当（庄子 次雄 戸田 康子 中山 裕）

1. 近畿支部 100周年に寄せて（追加寄稿）

（掲載順不同）

近畿支部設立100周年、おめでとうございます。私がこの支部に一番励まされたのは、実は会に参加したことがない頃でした。夫の転勤で関西にきた時、息子は0歳。育児に孤軍奮闘する中、TG青葉親睦会の案内状が届きました。子育て中で不参加の返信ばかりでしたが、故郷から遠いこの地でも学院の仲間がいる、自分は一人じゃないと思ったのです。

支部は「大木」のように感じます。学院という種がこの地に根差して大きな幹となり、この木のもとに皆が寄り集まっているのです。大木まで育てて下さった先輩方に心から感謝いたします。そして、ますますこの木が繁りますようお祈りします。

兵庫県 尼崎市 関根 ゆかり

1957年に学院高校を卒業、浪人1年、東京で学生生活足掛け10年、秋田で就職した私が神戸に流れついたのが1969年でした。当時は70年安保闘争、大学紛争で世情騒然という状況でした。教職についていたため70年代の初めまで、私は興奮と荒れた気分がおさまりませんでした。

そのようなおりに、突然、学院同窓会の連絡をもらいました。関西にまで東北学院の？とびっくりするやら、懐かしいやら、嬉しいやらで早速出席させていただきました。母校にも筆不精で過ごしてきた私の居所をどなたが見つけて下さったのか、今もってわかりませんが、主人に見つけ出してもらった一匹の羊のような気持ちです。そのころには、中学・高校時代の恩師（シミンツァンこと清水浩三先生、ゲタサンこと田口誠一先生（のち院長）、シミキンこと阿部重雄先生）なども招待され、高校卒で旅に出た先輩も参加、明日への元氣と励ましを大いにいただきました。

その後、阪神・淡路大震災などもあり、役員の方々には大変なご苦労があったことと思います。なかでも銭高組の卒業生の方々に支えていただいたことは忘れられません。2003年に京都支部と神戸支部が近畿支部に統合、TG青葉親睦会と名乗ることになってからは、針生支部長のもと心機一転、元気な女性軍も加わり、新年会、お花見会、納涼会、総会、（プラス女子会）と年中行事が開催され、2019年7月には仙台で100周年記念同窓会開催、母校訪問が実現しました。

以上、まるで当事者のような書き方をしましたが、実は、私は完全におんぶに抱っこ、お手伝いを何もしておらず、ただただ甘い蜜を吸わせていただいていたばかり。役員、幹事の方々の奉仕とご苦労がなければ、このような集まりは存続できません。それが100年間続いてきたということは奇跡です。キリスト教を信じる、信じないは別にして、学院の3L（LIFE、LIGHT、LOVE）の精神が無意識のうちに同窓生の生きる支えとなっている証（あかし）であります。第二の故郷としてのこの同窓会に、枯れ木も山のにぎわいと申しますので、今後も私はできる限りお邪魔させていただきたいと願っています。

兵庫県 神戸市 眞方 忠道

この度は、近畿支部設立100周年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。

私が近畿支部の行事に参加するようになったのは、2017年11月の総会からになります。参加してみて一番驚いたのは讃美歌から始まることでした。卒業以来久々に聞く、その歌声はタイムマシンのようで、30年前の学生時代の景色がどんどんよみがえり、一瞬にして皆さんと打ち解け、癒され、勇気づけられ、楽しい一日となったことを今でもはっきりと覚えています。

これからもこの支部が大学から社会という大海原に漕ぎ出す後輩たちの心のオアシスであり続けるよう、私も微力ながら尽力してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

末筆ながら、近畿支部の一層のご発展と皆様方のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

大阪府 吹田市 大槻 六郎

大阪府交野市にお住まいの 佐藤 吉雄 様 から漢詩を寄稿いただきました。

〈漢詩〉

佳園交友

開園神阪後京僚
世話日常成育調
滿地白紅寛眺望
此庭参集社交聊

〈訳文〉

佳園交友

佐藤 吉雄

TG会は神戸と大阪で開園し後に京都が入会して友となりました
幹事や会員が日常一生懸命世話したので立派に成育しました
佳園には紅白の花が咲き広いながめです
この素晴らしい庭に集まって社交するのが楽しいです

〔語句説明〕

- ◎佳園「TG近畿支部を准（なぞら）える
- ◎僚（ともがら）「仲間
- ◎調（ととの）う「調和がとれる
- ◎白紅「男女の形容
- ◎聊（たの）しむ「楽しむ

近畿支部は設立100周年ですが、ちょうどその半分、私が卒業して50年間、近畿支部でお世話になっています。中学・高校で6年、大学で4年の10年間は東北学院で学び、1970年（昭和45年）の大阪万国博覧会開催の年に大阪に移りました。大阪、神戸、京都で開催された同窓会には参加させていただきましたが、目が不自由になり、最近では参加できずにさびしい思いをしています。

私のささやかな思い出は、1979年に研修で1年間、ニューヨークに滞在していたとき、小田学長と清水浩三先生にお目にかかれたことです。恩師であり、仲人でもある清水浩三先生とは連絡をとっていました。

1985年の**プラザ合意**の会場となり、有名になった**プラザホテル**で、小田学長にお目にかかりました。清水浩三先生が小田学長に同行されていた関係で、雲の上のような存在の小田学長と日本料理店**さくら**で食事を一緒にさせていただきました。最近、トランプ大統領がプラザホテルを買収したと聞きましたが、プラザホテルの名前が出るたびに、あの時のことを思い出します。当時、80歳を超えていた小田学長は、アーサナス大学との国際教育交流の話し合いでニューヨークを訪問されていたそうです。

小田学長との会食では、最初何を話したら良いのかわからなくて、英会話を習い始めた時に外人講師との会話と同じ感じがしました。時間が経つ内に、少し打ち解けて、アメリカにおけるカード決済の話ができました。現在では日本人も普通にカードを使うようになっていますが、当時は珍しかったのです。小田学長は経済学者なので、そのことに興味を持たれてお話をされていました。翌朝、アーサナス大学の学長がお迎えに来られた時に、小田学長とハグされたのを目の前にして両大学の絆の深さを感じました。

東北学院は創立以来、国際的に開かれた学校で、アーサナス大学と提携して学生の交換留学を支援し、国際的な広がりを持ち、そして活躍している同窓生がいる学院を誇りに思っています。

今後どうしていくかは、この不自由な中で、わかりませんが、今は毎日、東北の民謡を歌いながら、心は仙台に帰っています。10年程前にボランティアで介護施設を回っていた時に、**民謡と介護**をテーマに話をさせていただいた内容をCDに録音しています。① 本能寺の変（武将と民謡） ② 便秘の話 ③ 東日本大震災を中心に人生の応援歌 ④ のんべいの歌シリーズです。この4枚のCDをたくさんの方に聴いていただければ、これからも活動していきたいと思っています。

大阪府 箕面市 文屋 光史

TG会近畿支部に初めて参加したのは、1978年（昭和53年）5月17日でした。その日、会社で仕事をしていた時に英文科同窓生の仲間の方から「今日のTG会近畿支部の集まりに参加しませんか」と電話がありました。大阪天満橋にある「キャッスルホテル」での開催で、とにかく出席することにしました。誘って下さった女性は、彼女の勤めていた会社の大阪支店に転勤しておられ、運良く再会でできて楽しみも増しました。幹事は経済学部卒業の方で、初めてTG会を知ることができました。驚いたことに、小田学長ほか7名の来賓の方々がご出席されておられました。

それから時々、大阪市内のホテルでTG会がある時は出席しました。写真を撮り、会食をし、少々の会話もできました。京都のホテルでのTG会に出席した時のことで良く覚えていることがあります。私が英文学を学んでいた時に教授だった情野先生が、学長としてご来賓、お目にかかることができたのは感激でした。

大阪の「ホテル阪神」でのTG会では、舞台良し、テーブル配置良し、参加人数も多く、女性も参加されていました。スピーチにも花が咲き、写真もたくさん撮った楽しい思い出が残っています。「スペイン居酒屋」では、プレゼント交換やテーブル席のチェンジ等、全員が笑い満足感でいっぱいでした。「がんこ寿司店」では、会食（日本食）で始まり、雰囲気が変われど楽しみは変わらず、出席者は満足され、二次会のカラオケに参加者が多々ありました。

懐かしさと楽しさ、そして思い出の多いTG会近畿支部です。

兵庫県 西宮市 結城 一男

東北学院同窓会近畿支部設立100周年おめでとうございます。

1919年（大正8年）に神戸支部、大阪支部、さらに1933年（昭和8年）に京都支部が設立され、現在ではこれらが統合されて近畿支部となり、会員数約370名余りの大所帯となって活発に活動されていることは大変喜ばしいことです。先輩たち、現幹事や事務局の方々の努力の賜物であることは言うまでもありません。

それでは同窓会が産声を上げた大正8年は、どのような時代だったのか見てみませんか。大正時代は「**大正デモクラシー**」や「**大正ロマン**」などの言葉が生まれた時代です。

大正デモクラシーとは、大正時代に起きた政治に関する動きを表現したものです。当時はまだ普通選挙が行われておらず、選挙権は一部の人だけ。普通選挙法が成立したのは大正14年になってからで、しかも25歳以上の男子。女性の選挙権はまだ認められていませんでした（女性選挙権は昭和20年に認められました）。

一方、**大正ロマン**は、大正時代に花開いた大衆文化の様子を言い表す表現です。この時代に仕事をする**職業婦人が登場！**洋装に断髪という特徴的な装いが生まれ、彼女たちを**モダンガール**と呼んだのです。モダンガールたちが時空を超えて、現在では近畿支部モダンガールとして活躍しているということでしょうか。

さて、私と近畿支部とのお付き合いですが、随分と長くなりました。同窓会がある度に何故か出張を組んで参加しています。大阪転勤は2回で合計7年住んでいました。しかし、同窓会に誘われるのは大阪から東京に転勤間際にだけ、案内状が届きます。1回目は東京転勤が決まり引越準備をしていた時にホテル阪神で、2回目は東京に移動する日に岸和田で、いずれも久しぶりの参加＆送別会となりました。

大阪在住の時にはなかなか声がかからない。それなら3回目の大阪転勤を念頭に戸田さんと相談し、東京からの参加をお願いし、現在も続いています。残念ながら3回目の転勤の希望は叶わず、今年の3月末で定年退職になります。定年退職後も東北学院の同窓会は近畿支部に引き続き参加しますので、今後ともお付き合いください。

長くなりましたが、もう一つお話を書きます。近畿支部の同窓会で針生支部長（当時）から活動報告があり、広島支部総会に参加（2015年）したとの話にショックを受けました。というのも私が土木工学科を卒業し、就職して最初に赴任したのが広島だったのです（1984年4月～1991年3月）。しかも広島支部長（当時）は**釜飯酔心**の社長です。釜飯酔心と言えば、広島では名門中の名門のお店です。私もお客様を接待するのに酔心を使わせていただきました。酔心で接待すれば、**お客様もご満足、接待する側も満足**という至れり尽くせりのお店です。大先輩が酔心の社長をされていたなんて、もっと早く知りたかったな。もっとも私が広島で仕事をしていた頃は、まだ携帯電話もなくインターネットという言葉もなかった時代ですので、仕方がないかもしれませんね。プライベートではデートで食事もしました（現妻・・・？記憶がはっきりせず・・・）。今となっては良い思い出です。

最後に、今後のモダンガールを含めた近畿支部の方々のご健康とご多幸を祈念いたします。

埼玉県 和光市 齋藤 彰

卒業してから随分経って、東北学院同窓会に参加させて戴きました。基督教学科は同学年が二人だけでしたので、同窓会など考えもしていませんでした。思いもかけない素晴らしい同窓生との出逢いに非常に喜ばしく思っております。先輩方はもちろんの事、現役時代には教室やサークルではすれ違っていた皆様と同窓会を通してこの、近畿圏内において出会いお付き合いが始まるとは、期待以上でした。今後の新しい世代の同窓生との出会いを楽しみにしています。幹事様達には本当にお世話様でございます。これからも皆様のご健康、ご健勝と、東北学院同窓会近畿支部の末永く広がっていきます事お祈り申し上げます。

大阪府 大阪市 西海 馨

私が近畿支部同窓会に初めて参加したのは、2017年2月でした。仙台から遥か遠方のお大阪で同窓会のお誘いを受けたことに大変驚き、同時に母校の懐かしい風を感じ、不思議と心が温まったことを今でも思い出します。前年の9月に息子を出産し、当時まだ5か月。どうかなあと思案しつつも、懐かしさが勝り、息子を抱っこ紐で結わえながら、京都での新年会に思い切って参加させていただきました。初めてお会いする先輩方には温かく迎えていただき、同窓生同士すぐに距離が縮まり、楽しい時間はあっという間に過ぎてゆきました。

同窓会はとても心強い味方です。ここ関西でも「近くに仲間がいっぱいいる」と思うだけで、何とも言えない安心感があります。コロナ禍で皆さんにお会いできないのは寂しいですが、「皆さん、元気でいらっしゃるかしら？」とお互いに思う気持ちがLINE等から伝わってきます。早く皆さんが元気で集まれる日が来ることを心待ちにしています。その時はまた大きくなった、元気いっぱいの子息も連れていきたいと思っています。

大阪府 吹田市 安田 晶子

（出典：東北学院同窓会HP）



（仙台市全景）



（仙台・定禅寺通り）

2. 近畿支部 100周年に寄せて（特別寄稿）

近畿支部100年のあゆみに寄せて

大阪府 高石市 宇野 敦（元 事務局長・副支部長）

1. 銭高組名古屋支店に勤務して初めて学院OB会の存在を知る

1973年（昭和48年）4月に大阪中之島で新入社員研修を受けて、名古屋支店に配属となりました。学院から60名余りの卒業生が就職していますが、名古屋支店への配属は私が初めてでした。当時の名古屋支店長の知人から声をかけられて、名古屋支部総会に出席しましたが、あまり記憶に残っていません。

2. 近畿支部の事務局長になった経緯

①1981年8月、休職して労働組合の本部専従書記長として大阪に転勤しました。大阪・西本町鞆公園の向かいにあった組合事務所に突然高橋保夫近畿支部長（当時、銭高組専務取締役）が訪ねて来られました。専務曰く「会社よりいい場所にあるなあ。近畿支部の事務局をやってくれよ。」と有無を言わず事務局長にさせられてしまいました。噂には聞いていましたが、凄いオーラがありました。わざわざ来訪してお声をかけていただいたことが心に残っています。同時にこの偉い人に恥をかかせられない、しっかりやろうと思いました。前任者の堀米さんから梅田の喫茶店で引継ぎをしました。

②ちなみに高橋保夫氏は東北大学の前身である仙台高等工業学校建築学科を卒業後、旧内務省営繕課を経て、1946年に36歳で銭高組に入社し、1980年に代表取締役副社長に就任しました。温厚で高貴な人柄は出色な存在でした。1971年から20年間にわたり近畿支部長として支部発展に尽くされましたが、1994年3月に81歳で急逝されました。社葬の際には、清水同窓会総主事をはじめ学校関係の方々が参列されました。

3. 事務局を支えた人たち（私の知る範囲で）

（1）＜川村直義さん（事務局）＞ バラ印刷社長（文英 S29年卒）

非常に物静かで真面目・誠実さが服を着て歩いているような方でした。ご職業柄、事務作業や印刷物等で、かなりお世話になったと聞いています。川村さんの存在と協力で、中期の近畿支部を支えていただきました。その後、副支部長としてご活躍されました。

（2）＜堀米克弘さん（事務局）＞ 東京書籍編集室長（文経 S38年卒）

激務を抱えながら、事務局として尽力して下さいました。1982年（昭和57年）には近畿支部の立派な名簿を作成されています。

（3）＜宇野 敦（事務局長：1983～2002年）＞ 銭高組（経経 S48年卒）

① 新規会員の掘り起こし

・同窓会本部から送付される関西地区の名簿には、440名近くの卒業生が掲載されていたと記憶しています。すべての方に総会開催通知の往復はがきを郵送したところ、宛先不明で戻ってきたはがきや、返信のない同窓会会員もいらっしゃいましたが、約120名の返信がありました。翌年の総会は50名位の参加があり盛会となりました。以前に参加されていた方が数名、また初めて参加された方も多数おられ、とても新鮮味のある総会だったと記憶しています。

・当社大阪支社の経理課長を通じて、七十七銀行、岩手銀行の大阪支店勤務の卒業生にも声をかけていただきました。

・新規会員の中でも特に印象に残っている方は、当時資生堂の相談役で芦屋市在住の岩崎豊壽さんで、大変洗練されたセンスのある方でした。大阪支店長時代に製品開発本部長として大いに業績向上に寄与され、代表取締役会長まで勤められました。総会のおりにはミニチュア化粧品セットを多数いただき、出席者はじめ関係者に非常に喜ばれました。また、参加される度に多額のご寄付をいただき、有効に活用させていただきました。

② 総会、特に懇親会の運営・進行を見直し

従来の総会では、先生方のご挨拶から始まりましたが、お仕事柄が堅苦しく、長くなる傾向がありました。針生副支部長（当時）を先頭として幹事会で「同窓会中心の交流会にしよう！」を合言葉に進行を変更しました。先生方の挨拶は後半にお願いし、まず、新規参加者やリピーター組、女性にステージが上がってもらい、針生さんの頓智の利いた名司会で面白く質問を投げかけました。特に子育てに一段落した女性参加者の回答は、旦那への注文などリアリティに富んでおり、男性諸氏には耳の痛いところであり、お互い苦笑いしていました。そこは関西の土地柄に馴染んだ人ばかりでしたので、その内、学校関係者の方も「近畿支部は賑やかで一番面白い支部」と言われるようになりました。

③ 女性会員の掘り起こしと参加増のために

・音信通知のあった方に積極的に電話をしました。現在の事務局戸田さんはいつも気軽に応じてくれました。内心、信念のある、他人のために尽くす人だなと感じました。その後の活躍は皆さまご承知のとおりです。初参加は1988年京都平安会館での総会で紅一点でした。

・現在幹事の松谷一枝さんの初参加は2004年10月のホテル阪神での総会で、この時は松谷さん、戸田さん含め4人もの参加がありました。事務局としてはとても嬉しいことでした。従来は丸テーブルに少ない女性参加者に一人ずつ座っていただいていた。女性は一緒にテーブルの方が気楽におしゃべりできて良いよとの妻の助言があり、同席にして正解で、女性4人の壇上でのスピーチもスムーズに進行しました。

・女性の参加費を男性より安くしました。

④ 同窓会本部役員・清水浩三総主事との思い出

・清水浩三総主事は温厚で優しい方でした。1993年の総会に参加されたおり、学院卒の女優鈴木京香さんのお話になりました。主事の教え子でしたので、近畿支部総会の来賓として呼びできませんかと尋ねましたら、スケジュールがいっぱいで2～3年先の予約になるとのことでした。結局実現しませんでした。一流の女優さんが教え子なので、主事も誇らしい表情をしていました。

⑤ 順調に毎年開催していた総会ですが、1995年1月17日阪神・淡路大震災が発生

・私は被災地の当社施工物件の調査や救援・支援活動に飛び回り、断水していた得意先に給水ポリタンクで水を配って歩きました。支部会員で建物に被害があった方もおられたと思いますが、幸い人的被害の報告は聞きませんでした。しかし、総会を開催する気にはどうしてもなりませんでした。正直疲労のために、その気力も失せていました。阪神大震災は人の命や建物のみならず人間の心も破壊してしまいました。

（４）＜加美山利幸さん（事務局長：2002～2013年）＞ 銭高組（経商 S62年卒）

・同じ会社の後輩である加美山君に事務局長を引き継いでもらいました。学院柔道部出身で、気は優しく明るい性格でよく奮闘してくれました。その内に戸田さんが事務局の協力をしてくれるようになりました。加美山さんは、2014年6月に仙台支店転勤となりましたので、戸田さんが事務局を担うことになりました。事務局の業務移管はスムーズにできたと思っています。

・この時期には大幅な役員の交代人事がありました。特に1970年以来長きにわたり、幹事・副支部長として貢献してきた針生壽則さん（現相談役）が支部長を引き継がれました。強い意志と行動力は、大震災後の近畿支部の立て直しの精神的支柱でした。特に女性への何気ない気配りは、今日の女性会員増の一助となっていると思います。

（５）＜戸田康子さん（事務局：2013年～現在）＞（文英 S53年卒）

近畿支部の活動が、新年会・お花見の会・納涼会・女子会・ゴルフ会・各種観賞見学会と豊富になったのは、戸田さんを中心とした人達の優れた企画力と実行力のおかげだと思います。会員の方も自分の好みに合わせてチョイスし参加することができます。この頃から特に女性参加者が多くなったのは戸田さんの貢献すること大です。お互いが協力し合い触れ合う中で楽しく快適な時間を過ごせるのだと思います。2017年総会で初披露された女性によるハンドベル演奏は見事で、絆の深さに感心しました。

以上、私見を申し述べましたが、私自身退職して第二の人生を迎えた時、如何に世の中を知らないことが多いかを痛感しています。

「いくつになっても、今日がいちばん新しい日」

これは、2017年7月に105歳で亡くなられた日野原重明さん（聖路加国際病院名誉院長）が著した最後の本の中の言葉です。きっと近畿支部での交流が皆さんの豊かな人生を切り開く一助になるものと信じています。

女子会

TG青葉親睦会では、女性間の親睦を深めるため、通常の会合のほか女子会を積極的に開いています。総会ではハンドベルの演奏を披露しています。

◎女子会によるハンドベル披露（総会にて）



2019.11.16

◎女子会



2013. 9. 30



2017. 9. 4

3. 総会写真集 3-1. 1973～1988年

① 1973年総会 1973. 5.17 開催 42名参加 大阪 錦城閣



② 1982年総会 1982. 5.22 開催 35名参加 京都 堀川会館



③ 1988年総会 1988. 4.28 開催 25名参加 京都 平安会館



3-2. 1989～2002年



① 1989年総会

1989. 5.26 開催
31名参加
大阪天満 高砂殿

② 1991年総会

1991. 5.17 開催
34名参加
大阪 うつぼパーク
ホテル 廣州飯店



(右写真)
1991年役員の皆さん



③ 2002年総会

2002. 9.27 開催
34名参加
大阪 ホテル阪神



3-3. 2004～2007年

① 2004年総会

2004.10.29 開催
33名参加
大阪 ホテル阪神



② 2006年総会

2006.10.28 開催
22名参加
大阪梅田
ホテルグランヴィア大阪

③ 2007年総会

2007.12. 2 開催
30名参加
大阪梅田
スペイン居酒屋 ルース



3-4. 2012～2014年

① 2012年総会

2012.11.17 開催
29名参加
大阪梅田
和食居酒屋 ゆずの庭



② 2013年総会

2013.10.19 開催
31名参加
大阪梅田
がんこ阪急東通店



③ 2014年総会

2014.10.19 開催
28名参加
大阪 ニュートーキョー
第一生命ビル店



4. 東北学院時報（抜粋）

（2020年11月15日発行 第760号）

近畿支部 設立百周年記念誌を発刊

二〇一九年、近畿支部は、設立百周年を迎えた。一九一九（大正八）年五月に神戸支部が発足、その後、大阪支部、京都支部が発足、その三支部が統合され、現在の「近畿支部」に至っている。

昨年、支部長を中心に「百周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、会員から要望のあった仙台の母校訪問を実現した。また、「記念誌」編集事業も進め、このほど『近畿支部百年のあゆみ』を発刊した。

母校訪問は、昨年七月、秋保温泉で懇親会

を開き、翌日には、土樋キャンパスを訪問、美しいステンドグラスの礼拝堂・史資料センター・重要文化財のデフォレスト館などを見学、午後からは多賀城キャンパスに足を延ばした。

十一月には、百周年記念の総会を開催し、近畿支部記念誌『百年のあゆみ』の編集が提案され、承認された。

記載内容として、近畿支部の組織の変遷、最近十年間の活動記録、最近四年間の集合写真などである。

組織の変遷については、百年前まで遡ることは難しく、当時のことを知っている方や校友課に残っている資料を基に作成し、併せて支部を支えてこられた諸先輩方のお名前を記載させていた。また、最近十年間の役員の方の役職、在任期間を掲

載した。

活動内容では、親しみがあり、参加しやすいように「TG青葉親睦会」と名付けて、毎年、新年会・お花見の会・納涼会・女子会、そして総会を開催、活発に活動している記録を掲載した。

近畿支部は、近畿二府四県、滋賀県から和歌山県までの広い範囲にわたっており、約三百六十名の会員が登録されている。今年は、コロナの影響で、例年行われてきた行事が中止となり、会員同士の集まりができなかった。すでに来年の行事を企画、日程・会場も決定し、会員との再会

を待ち望んでいる。

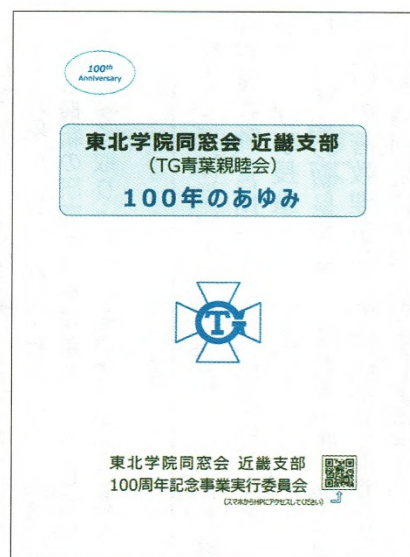
百周年という大きな節目を迎え、気持ちを新たに活動していきたいと思っている。

この場をお借りして、記念誌をまとめるにあたり、資料の提供、寄稿文をお寄せいただいた皆様に感謝申し上げます。

今後も近畿支部の活動にご理解、ご支援をいただきますようお願いいたします。

この記念誌をご希望の方は、校友課までご連絡をお願いいたします。近畿支部事務局から送らせていただきます。

〈近畿支部 事務局〉





**東北学院同窓会 近畿支部 100年のあゆみ
(100周年記念誌 追加版)**

発行日：2021 年 4 月 1 日

編集者：100周年記念事業実行委員会

本資料に関する問合せは、近畿支部幹事 庄子（ショウジ） 090-5053-6406）までご連絡ください。